



夢実現（大矢野中だより） 2年3組 特別号

令和6年9月26日（木） 文責 校長 松田 真也

9/25 2年3組で研究授業 学びの様子を見ていただきました。

5校時に、**研究授業**がありました。担任の山本翔先生による「**道徳**」の授業でした。先生方全員と、市教委の沼田指導員が参観されるということで、山本先生もとても緊張されていましたが、2年3組のみんなが、よく頑張ってくれたおかげで、良い研究授業となりました。



緊張気味の山本先生

この授業のテーマは「**あいさつ**」。あいさつの意義を理解し、時と場に応じて、主体的にあいさつをしようという態度を育むために、改めて考える授業でした。

あいさつは大切。分かっているのにできないのは、なぜ？

2年3組の事前アンケートでは、「あいさつ」は大切だと100%の人が思っています。でも、いつもあいさつしている人は53%ほどです。**なぜなのか？**

次のような、資料の登場人物の意見について考えながら、**あいさつの意義**（何のためにあいさつをするのか、なぜ大切なのか）に迫っていきました。

- ①あいさつは、親しい人同士がすればいい。
- ②あいさつなんて理屈抜きでやればいい。
 - あいさつは、誰にでもすべき。
 - あいさつは、ただするものではない。
 - あいさつは、**気持ちを込めて、気持ちを伝える**

クラスのあいさつの現状を改善したいという友達もいます。次は、その声についてどう思うかを考えながら、自分のあいさつの状況を振り返りました。



先生の話に注目・メリハリのある授業



授業後のインタビュー

- ・あいさつをみんなですることは、合唱にも通ずる。（声をそろえる→**気持ちをそろえる**）
- ・大きい声が良いのではなく、**気持ちを込める**ことが大切。（気持ちは、顔・表情にも出る）
- ・あいさつは、社会に出てからも大切。（**人をつなぐアイテム**。職場で、チームで、お客と）

授業後の振り返りやインタビューから、**あいさつの意義（大切さ）**を学び、めんどろだったたり、恥ずかしかったりしてあいさつしていなかった自分、**適当**にしかあいさつしていなかった自分を反省し、改めて、これからしっかりあいさつすることを意識した授業となったようです。

その後の**授業研究会**では、**主体的**に課題に取り組んでいた。**集中**して話を聞いていた。**メリハリ**をつけて授業に臨んでいた。**意欲的**に意見交流や発表していたなど、2年3組の良かった点がたくさん出されました。先生方の授業研究にたくさんの学びを与えてくれる研究授業でした。

2年3組のみなさん、ありがとうございました。これからも、**集中とメリハリのある意欲的**な授業をお願いします。そして、気持ちのよい**あいさつ**もお願いします。



たくさんの先生方が参観



先生方の授業研究会